

医06 視力表及び色盲検査表
一般医療機器 特殊視力検査装置 70973000
コンパクト視力計 CA-1000

【警告】

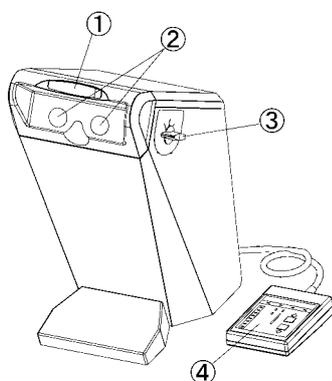
- ・本体の移動に際し、額当て部は持たないこと。
[落下によるケガの原因になります。]
- ・ヒューズを交換する場合には、電源コードを抜いてから作業すること。
[感電の原因になります。]

【形状・構造及び原理等】

<構成>

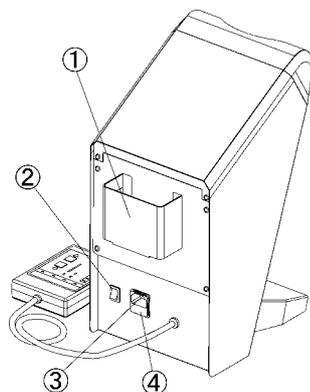
本体(コントローラー含む)

本体前面、右側面



額当て
接眼部覗孔
検査距離切換ダイヤル
コントローラー

本体背面、左側面



コントローラーホルダー
電源スイッチ
電源インレット
ヒューズホルダー

<電氣的定格>

電源電圧: 交流100V 50/60Hz

電源入力: 5VA + 15%以下

電撃に対する保護の程度: B形機器

電撃に対する保護の形式: クラス

<寸法及び重量>

寸法: 220mm(W) x 275mm(D) x 409mm(H)

重量: 6kg

詳細は「取扱説明書」の「仕様」を参照のこと。

【使用目的、効能又は効果】

一般健康診断の視力検査やVDT作業従事者の基本的な視機能のスクリーニングを行うことを目的とする。

【品目仕様等】

検査距離
5m、50cm、33cm

検査項目

- 片眼視力検査: 0.1~1.5(12ステップ)
1ステップ/1方向
- 両眼視力検査: 0.1~1.5(12ステップ)
1ステップ/1方向
- 乱視検査: 放射状正円15度刻み
- 立体視検査: 4段階(視差: 50秒、100秒、
200秒、400秒)
- 眼位検査: 水平各5プリズムディオプター
- 遠視チェック: +0.5ディオプター加入

【操作方法又は使用方法等】

(使用前)

使用前には「取扱説明書」の「保守・点検」にある点検を行うこと。

(使用方法)

被検者の顔を額当てにあてて固定し、両眼を開いて検査をします。

片眼視力検査

- (1) 検査距離切換ダイヤルを回して検査距離を設定します。
- (2) コントローラーの検査項目を「R 乱視 視力」または「L 乱視 視力」に設定します。
- (3) ランドルト環の切れ目の方向を、1番から順に上下左右で答えてもらいます。

両眼視力検査

- (1) 検査距離切換ダイヤルを回して検査距離を設定します。
- (2) コントローラーの検査項目を「R+L 立体視 視力」に設定します。
- (3) ランドルト環の切れ目の方向を、1番から順に上下左右で答えてもらいます。

乱視検査

- (1) 検査距離切換ダイヤルを回して検査距離を設定します。
- (2) コントローラーの検査項目を「R 乱視 視力」または「L 乱視 視力」に設定します。
- (3) ランドルト環の左側にある放射状の線視標(太陽のような絵)に、番号がついていることを被検者に確認してもらい、放射状の線の1本1本が全て同じ程度に見えるか質問します。もし、ハッキリまたは濃く見える線とボケて見える線がある場合は、その線の番号を答えてもらいます。

眼位検査

- (1) 検査距離切換ダイヤルを回して検査距離を設定します。
- (2) コントローラーの検査項目を「R+L 眼位」の位置に設定します。
- (3) 「矢印」が何番の「四角」を指しているかを答えてもらいます。

取扱説明書を必ずご参照ください

立体視検査

- (1) 検査距離切換ダイヤルを回して検査距離を設定します。
- (2) コントローラーの検査項目を「R + L 立体視」の位置に設定します。
- (3) 「 μ 」「 μ 」「 μ 」の立体視視標が、ランドルト環よりも手前に見えます。
- (4) 立体視視標の位置関係を「手前」または「奥」から順に答えてもらいます。

(使用後)

使用後は付属のダストカバーをかけること。

詳細は「取扱説明書」の「ご使用になる前に」、「各部の名称と機能」、「操作方法」、「保守・点検」を参照のこと。

【使用上の注意】

医用電気機器の使用上の注意事項

1. 熟練した者以外は使用しないこと。
2. 本装置を使用する前は、次の事項に注意すること。
 - (1) 水や薬品のかからない場所に設置してください。それらが製品内部に入ると、感電や故障の原因になります。
 - (2) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所には設置しないでください。それらがこぼれたり、蒸発したりして製品内部に入ると、引火して火災の原因になります。
 - (3) 電源の周波数と電圧、および許容電流値（または消費電力）に注意してください。それ以外の電源で動作させると、火災や感電の原因になります。
 - (4) 電源プラグは必ず3芯プラグ用のアース付きコンセントに接続してください。故障で漏電した際、感電の恐れがあります。
 - (5) 電源コードに重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
 - (6) 電源プラグを奥まで確実に接続してください。接触不良を起こしたり、金属が触れたり、露出したプラグの端子にほこりがたまると、火災や感電の原因になります。
 - (7) アースを正しく接続してください。アースを正しく接続しない場合、感電の恐れがあります。
 - (8) 直射日光の当たる場所、高温・多湿の場所、ほこり・塩分・イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響を生じる恐れのない場所に設置してください。故障や誤動作の原因となります。
 - (9) 傾斜、振動、衝撃のない、安定した場所に設置してください。正しい検査ができない可能性があります。また、転倒や落下により、火災や人身事故にいたる可能性があります。
3. 本装置の使用中は、次の事項に注意すること。
 - (1) 本装置にもたれかかったり、上から押さえつけたりしないこと。転倒し、故障やけがををする恐れがあります。
 - (2) 装置および被検者に異常のないことを絶えず監視すること。
 - (3) 装置及び被検者に異常が発見された場合は、直ちに検査を中止し、適切な措置を講じてください。
 - (4) 本装置に、発煙、異臭、異常音などが発生した場合は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、本装置のお買い求め先または株式会社トーメーコーポレーションにご連絡ください。
4. 本装置の使用後は、次の事項に注意すること。
 - (1) 電源プラグをコンセントから抜くときは、コード部分に無理な力を加えないように、必ずプラグを持って引き抜いてください。コード部分を引っ張ると、コード内の芯線が断線し、感電や火災の原因になります。
 - (2) 保管場所については、取扱説明書の「保管について」の項に従うこと。
 5. 故障した時は直ちに使用を中止して、本装置のお買い求め先または株式会社トーメーコーポレーションに点検、修理を依頼してください。
 6. 本装置は改造しないこと。
 7. 本装置および部品は、必ず定期点検を行うこと。
 8. しばらく使用しなかった装置を再使用するときは、使用前に必ず装置が正常にかつ安全に動作することを確認すること。

その他「取扱説明書」の「重要な警告事項」を遵守すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 動作環境条件

温度：+10～+40
湿度：30～75%
気圧：700～1060hPa

2. 貯蔵・保管

- (1) 水や薬品のかからない場所に設置すること。
- (2) 直射日光の当たる場所、高温、多湿の場所や、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響を生ずる恐れのない場所に設置すること。
- (3) 傾斜、振動、衝撃の無い安定した場所に設置すること。
- (4) 化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に設置しないこと。
- (5) 電源の周波数と電圧、および許容電流値（または消費電力）に注意すること。
- (6) 電源の状態（放電状態、極性など）を確認すること。
- (7) アースを正しく接続すること。

【保守・点検に係る事項】

日常の手入れ

- (1) 使用しないときはダストカバーを被せてください。
- (2) 長時間使用しないときには、電源コードをコンセントから抜いてください。
- (3) 本装置の清掃は柔らかい布でから拭きをしてください。汚れがひどいときには薄めた中性洗剤に浸して硬く絞った布で拭き、そのあと、から拭きをしてください。

その他保守・点検の詳細は「取扱説明書」の「保守・点検」を参照のこと。

【包装】

1台単位で梱包

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

株式会社トーメーコーポレーション
愛知県名古屋市中区則武新町二丁目11番33号
TEL(052)581-5321

取扱説明書を必ずご参照ください